

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

- この取扱説明書は、プラグインユニット（端子台搭載） i plug（アイプラグ）の取扱いについて述べています。i plugに搭載されたブレーカの取扱いについては、同梱のブレーカ取扱説明書を参照してください。
- 本書に述べていない取扱いおよび誤った取扱いによって生じる損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠️ 危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠️ 注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、**⚠️ 注意**に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

機種

シリーズ	極数	A7レーム	i plug		適用機種		
			PLタイプ	PHタイプ	サーキットブレーカ	漏電ブレーカ	端子台
協約形	3P	50	○	○	NE53C	GE53C	TBF-063JK
		60			NE63C	GE63C	
経済形	3P	50	○	○	NBE53J	GE53J	TBF-063J
		60			NBE63J	GE63J	
		100	○	○	NBE103J	GE103J	TBF-153J
		150			NBE153J	GE153J	
		225	○	○	NE223	GE223	TBF-253J
		250			NE253	GE253	

・ブレーカと端子台を搭載した i plugには、取付板からパネルまでの高さが81mmのPLタイプと125mmのPHタイプの2種類あります。

保管上の注意

⚠️ 注意
<ul style="list-style-type: none"> 梱包状態で保管してください。 高温、多湿、塵埃、直射日光、腐食性ガスなどの雰囲気でも長時間保管しないで下さい。

必要工具

- 共通
プラスドライバー（No.3）
- シールドプレート取付用
ニッパまたはラジオペンチ

施工前の確認事項

⚠️ 危険
<ul style="list-style-type: none"> 感電注意 i plugを取付ける配電盤には、当社指定の部品を使用してください。感電、火災のおそれがあります。 火災の可能性 上位遮断器などを切（OFF）状態にして、母線が充電していない状態にしてください。短絡事故、感電のおそれがあります。

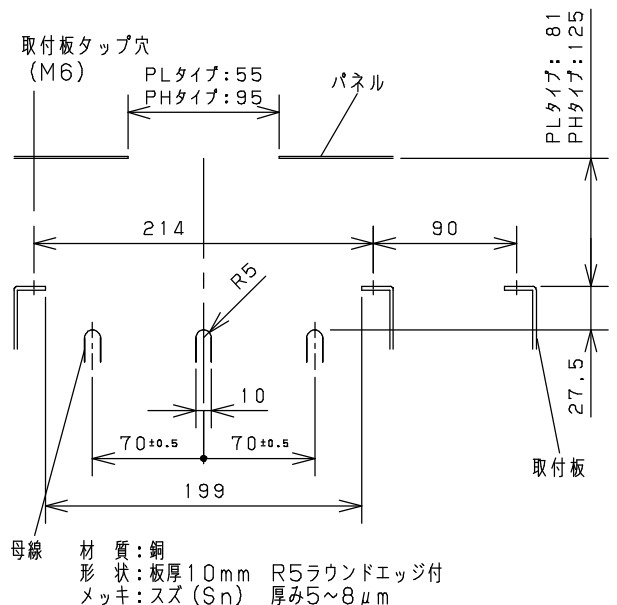
- 施工前に i plugを取付ける配電盤が右図の通りであることを確認してください。
- 施工前にアルコールを含ませたきれいな布などで母線を清掃し、表面を清浄にしてください。

グリスについて

i plug接触子のグリスが蒸発・変質した場合は、下記グリスを適量塗布してください。

（メーカー：エレクトロループ 品番：2GX）

注）グリスは塵埃・腐食性ガスなどの異常環境によって蒸発・変質することがあります。



■使用上の注意

⚠ 危険	
⚡ 感電注意	<ul style="list-style-type: none"> 母線や端子部に触れないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。 母線が充電している状態で、i plugを母線から引抜いたり差込んだり、取付ねじを緩めたりしないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。 i plugに搭載されたブレーカの電源側端子カバーは、外さないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。
💥 爆発の危険性	<ul style="list-style-type: none"> 定格を超えた仕様では使用しないでください。絶縁破壊による地絡、短絡事故や遮断不能による爆発などのおそれがあります。
⚠ 注意	
⚡ 感電注意	<ul style="list-style-type: none"> 自動的に遮断した場合は、原因を取り除いてからハンドルを入(ON)にしてください。感電、火災のおそれがあります。
🔥 火災の可能性	<ul style="list-style-type: none"> 保守・点検作業は、専門知識を有する人が行ってください。上位遮断器を切(OFF)またはトリップ状態にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電のおそれがあります。
🔥 高温注意	<ul style="list-style-type: none"> i plug接触子からリングバネが外れていないか確認してください。発熱、火災のおそれがあります。
🚫 分解禁止	<ul style="list-style-type: none"> i plug及びi plugに搭載された機器類を分離、変形、改造、分解しないでください。性能と品質を保証しません。 DC(直流)には対応できませんので使用しないでください。

■施工上の注意

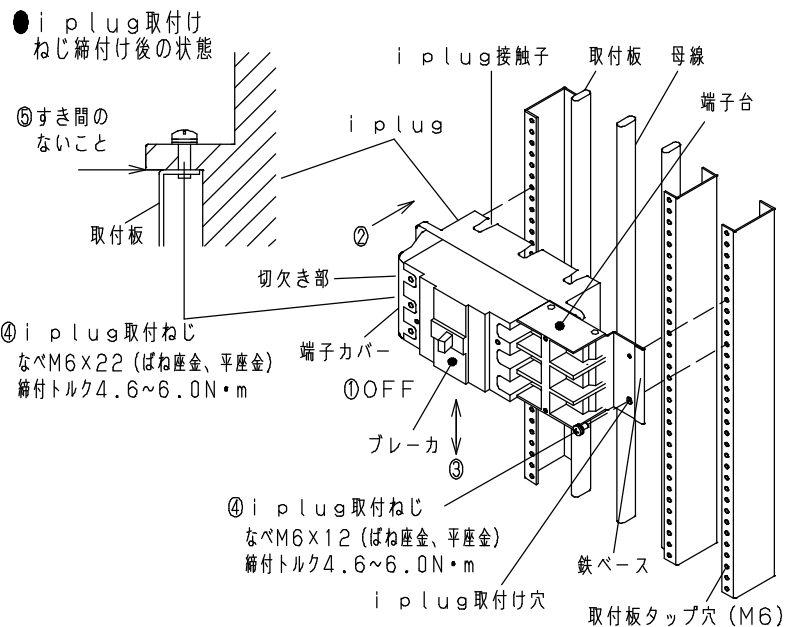
⚠ 危険	
⚡ 感電注意	<ul style="list-style-type: none"> 母線や端子部に触れないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。 母線が充電している状態でi plugを母線から引抜いたり差込んだり、取付ねじを緩めたりしないでください。短絡事故、感電のおそれがあります。
⚠ 注意	
⚡ 感電注意	<ul style="list-style-type: none"> 高温、多湿、じんあい、腐食性ガス、振動、衝撃などの異常環境に設置しないでください。感電、火災、動作しないおそれがあります。
🔥 火災の可能性	<ul style="list-style-type: none"> ごみ、コンクリート粉、鉄粉、虫などの異物及び雨水等がi plug及びi plugに搭載された機器類の内部に入らないように施工してください。火災、動作しないおそれがあります。 i plugの取付け・取外し作業及び搭載された機器類への配線作業は、i plugに搭載されたブレーカ及び上位遮断器を切(OFF)またはトリップ状態にし、電気がきていないことを確認して行ってください。感電、けが、火災のおそれがあります。 i plugは、i plug取付ねじで確実に配電盤に取付けてください。i plug脱落、けが、火災、過熱、ブレーカの不要動作の原因になります。
	<ul style="list-style-type: none"> 電気工事は、有資格者(電気工事士)が行ってください。 本体の定格にあった電源に接続してください。不動作及び故障の原因となります。 電線の接続は、各極の端子に電線が平行に接続されるように、事前に電線を成形した上で端子ねじを確実に締付けてください。また、機器類の端子に電線の重量が過度に加わらないように、電線を固定してください。

■取付け・取外し

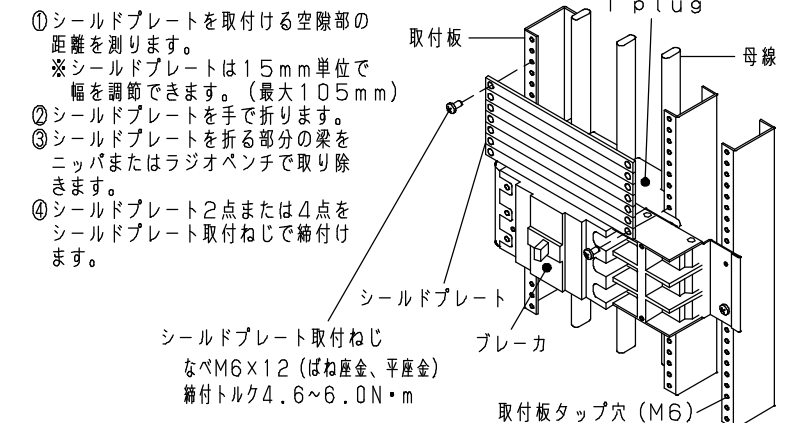
- 取付け(下図参照)
- i plugに搭載されたブレーカを切(OFF)状態にします。
 - i plugを手で持ってi plug接触子と母線の掛かりを合わせ、押込んでi plug接触子を母線に差込みます。
 - i plug取付け穴と取付けタップ穴を合わせます。母線に差込まれた状態で、手でi plugを動かしてください。
 - i plug取付ねじ2点をプラスドライバーで締付けます。ブレーカ電源側は、i plugに取付られている取付ねじを、ブレーカ負荷側は、取付穴にi plug取付ねじを挿入してから締付けてください。
 - i plugと取付板の間にすき間のないことを確認します。

- 取外し
- i plugに搭載されたブレーカ及び上位遮断器を切(OFF)状態にします。
 - i plug取付ねじ2点を緩めて外します。ブレーカ電源側のi plug取付ねじは、完全に緩めてもi plugから脱落しない構造となっています。
 - i plugを手で持って引抜き、i plugを取外します。

※ブレーカ同士が密着して、手で持ちにくいときは、ブレーカ電源側のi plugの切欠き部にマイナスドライバーを挿入して、てこの原理でマイナスドライバーを押してください。ブレーカ負荷側は、鉄ベースに指を掛け、引き上げてください。i plug接触子が母線から引抜かれます。このときブレーカが落下しないようにブレーカを手で支え、取外しが終わるまで離さないでください。



■シールドプレートの取付け



施工業者名

TEL

施工年月日

年

月

日

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。

この取扱説明書の内容は2011年 6月現在のものです。

NITTO 日東工業株式会社

© NITTO KOGYO CORPORATION

お客様相談室/愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地 C905332001

TEL (0561) 64-0152

http://www.nitto.co.jp